

法人（事業所）理念		「成長起点、人生にきっかけを。」											
支援方針		発達 の 土台をチームで支える「はじめの療育」 発達・成長の土台を“関わり”や“環境面”から整え、子どもの可能性の芽を見つけ、広げる											
営業時間		9時		0分から		18時		0分まで		送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	■自立に向かう生活力の育成 ・生活のリズムを整え安心して過ごせる環境の中で、着替えや整理整頓、身だしなみの整え方など日常生活の基礎を練習する。 ・スケジュール、その他視覚支援ツールを取り入れながら活動の見通しを立て「できた」の経験を積み自信を持てるようにする。											
	運動・感覚	■身体の使い方を社会生活へ ・目的のある遊びや活動を体験する中で、体・指先の動かし方、バランス感覚を楽しみながら整えるようにしていく。 ・遊びや生活・集団活動を通して、「できた」や「楽しい」と感じながら姿勢や動作・力加減などを育てる支援を行う。											
	認知・行動	■学校・社会で必要な行動力 ・スケジュールや全体指示を通して見通しを立てて安心して行動できるようにする。 ・カード遊びやパズルなど遊びを通して楽しみながら集中力や理解力を高めていく。											
	言語 コミュニケーション	■人とつながるための言葉の力 ・言葉やクレーン・身振り等での思いの表現を通して相手に伝わった嬉しさや喜びを経験しながら思いの表出ができるようにする。 ・安心できる環境の中で、人との関り、会話、距離感などを体験しながら学べるようにする。											
	人間関係 社会性	■社会参加につながる力 ・安心できる大人との関係性づくりを土台に情緒の安定をはかりながら自己理解やコントロール方法を見つけていく。 ・約束やルールのある遊びを通して集団活動や友達との関わり、社会性を身につけていく。											
家族支援		はじめ て の療育を利用する保護者の不安や思いを丁寧に受け止め一緒に関わり方や支援方法を考えおこなっていく。不安や疑問があった時などすぐに相談できる環境を整え「一人で抱えない」を大切に支援を行う。							移行支援		就学・進学・進級等の環境の変化に向けて、家庭・学校・関係機関と連携し、子どもが安心して次のステップへ移行できるよう支援を行う。		
地域支援・地域連携		家庭・園や学校・関係機関と連携し、情報共有を大切にしながら、子どもが安心して地域で生活できる力を育む。公共施設の利用や外出体験を通して、社会経験を広げる支援を行う。							職員の質の向上		定期的に行う全体会議や研修を通じて、職員の資質向上・支援の方向性の共有を行っている。また障がいへの理解・職員個人の能力向上を目的とした福祉専門eラーニングシステムを活用し、全スタッフ動画講座の受講を必須としている。		
主な行事等		■からだであそぶ！チャレンジデー：公園遊び・室内遊具遊び・プールなどで体と感覚を育てる。■つくって伝える！気持ちアート：制作活動を通して気持ちや好きなことを表現し、「伝わる」「聞いてもらえる」経験につなげる。■みんなのできるもん！：お友達とクッキング体験・工程のある活動に取り組み、見通しをもって行動する力や達成感を育てる。■ippoフレンドパーク：チームで楽しむ！協力ミッション・小集団での活動を通し、人と関わりながら一緒に取り組む経験を大切にする。■いっぽでGO：公園や地域施設での体験を通して、季節や環境への興味を広げる。											